



小名木川小学校が、新しい校舎に建替えられることになりました。(2026年完成予定)
そこで児童や職員、地域の方々の「想い」や「気付き」を反映させた新しい校舎にしていくために、
全4回のワークショップを開催していきます。

- 第1回： 7月20日(水) 「小名木川小学校の「いま」と「将来」について」
- 第2回： 8月23日(火) 「新たな小名木川小学校全体のありようについて」
- 第3回： 10月 3日(月) 「新たな小名木川小学校の校舎等のありようについて」
- 第4回： 11月 7日(月) 「より良い小名木川小学校のすがたについて(まとめ)」

●ワークショップとは●

おたがい「前向き」に「いろいろな意見を」
かさねあわせてより良いものをつくりあげていく共同作業

参加者は、小名木川小学校の児童、教職員・PTA、
近隣住民代表のみなさま

江東区ではこれまでも学校の改築時にワークショップを開催しており、
小名木川小学校は、7校目になります。

第1回ワークショップ概要報告

小名木川小学校のお気に入りのところ、誇らしいところ、変えてほしいところ、
そして、「こんな小名木川小学校になったらいいな」という夢や希望について、意見を出し合いました。



小名木川小の誇らしいところ・お気に入りのところ・残したいところ

- ・学校と地域とが良好な関係
- ・校章のマークである、正門の桜
- ・たくさんの楽器がある音楽室
- ・さわいでもおこられない、教室っぽくない多目的室
- ・昔のものがあって面白い史料室
- ・授業が楽しい図工室とPCルーム
- ・ふんいきが落ち着く図書室
- ・中をのぞける給食室
- ・たくさんの自然（桜・果実のなる木）
- ・芝生と砂のゾーンがある校庭
- ・校庭にあるたくさんの遊具
- ・生き物のいるビオトープ
- ・舞台のような朝礼台
- ・体育館下の秘密通路
- ・みんなが集まれる広い体育館
- ・他校に比べて広いプール・屋上
- ・思い出のつまった卒業制作
- ・石田波郷の石碑



<小名木川小があるのはこんな地域>

下町情緒あふれる地域／幹線道路から離れているので静か
閑静な住宅地で顔見知りが多く、みんな仲良し
児童もおだやかでのんびりしている

新しい小名木川小に対する「夢」や「期待」

- ・街並みになじむ外観
- ・わかりやすい正門
- ・安全な歩道
- ・小名木川小のキャラクター・シンボルがたくさん使われている校舎
- ・幼稚園があったという証
- ・小名木川が見える場所
- ・テラスのようなみんなで話せる場所
- ・ゆとりある・使いやすい「仲良し」「きつず」「桜教室」
- ・PTA室を使いやすい場所に
- ・機能的な部屋の配置（職員室、事務室、印刷室は近くに）
- ・いろんな使い方ができる可動式の壁の教室
- ・児童が増えても対応できる余裕ある教室数
- ・バリアフリーな校舎・エレベーターの設置
- ・水害時に対応できる学校（備蓄倉庫は上の階に）



小名木川小の変えてほしいところ

- ・歩道が狭く、人が多いと歩きづらい
- ・車・自転車の通行が多くて危ない
- ・正門の位置がわかりにくい
- ・犬走りが危ない／朝礼台が高すぎる
- ・狭いところがたくさんある
- ・登校時に学校が開くまで子どもが待てる場所
- ・昇降口／教室／家庭科室・図工室／保健室
- ・花だんにボールが入る
- ・トイレの男女の仕切りがあまい／洋式に



- ・できるだけ広くて、今までと同じ使い方ができる校庭（球技・盆踊り・模擬店・避難訓練・転んでも痛くない）
- ・暑い日用のミスト
- ・広くて使いやすい校庭や体育館の収納スペース
- ・校舎と一体化した体育館とプール
- ・周囲から見えない、葉っぱや虫の入らないプール
- ・ウォータースライダー
- ・走っても危なくない屋上

